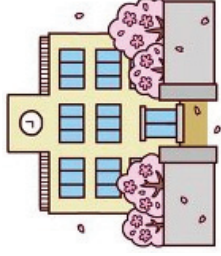


産業廃棄物の収集を始めます。(平成25年4月～)

大阪市立小学校・中学校・高等学校

大阪市教育委員会より入札受注しました。
 地域は「都島区」「中央区」「天王寺区」「浪速区」「旭区」「城東区」「鶴見区」の大阪市立学校、計112校から排出される産業廃棄物を平成25年4月1日～1年間、収集する事が決定しました。廃棄物の種類は、プラスチック類、金属くず、ガラスくず、木くずになります。また粗大ごみと、資源ごみ（ビン・缶・ペットボトル）も回収する事になりました。



一般廃棄物の収集を始めます。(平成25年4月～)

大阪市立保育所・幼稚園

大阪市こども青少年局より入札受注しました。
 大阪市内全域の市立保育園と市立幼稚園

計124か所の一般廃棄物の収集が

平成25年4月1日～1年間

収集する事が決定しました。



「造幣局」

造幣局から出る、一般廃棄物を平成25年4月1日～1年間、収集する事が決定しました。毎年4月中旬

ごろ「桜の通り抜け」では構内旧淀川沿いの

全長560m通路を1週間開放しています。

昨年は約66万人来場されています。

まだ観覧した事がない方は、是非ご観覧

ください。



「廃棄物管理士」取得しました！

廃棄物管理士とは、廃掃法の概要から委託契約書、マニフェスト、帳簿までの産業廃棄物に関する基本的な事項を学び、知識を習得し審査合格者に与えられる資格です。

(弊社取得社員数 計14名)



「修了証」と「認定証」



「小川」「国富」「奈良」「福嶋」



「木下」「岩木」「宮」

受講社員7名 平成25年3月

JグループSTAFF紹介(*_*) 「わが社の番頭さん♪」



名前：山本 啓一 (ヤマモト ケイイチ)

所属：㈱城東衛生

勤続年数：約40年

生年月日：昭和25年10月19日

趣味：へらぶな釣り、競馬、ゴルフ、読書

城東衛生に入社して40年が過ぎようとしております。先代及び現社長には非常に良くもなっており、60歳を過ぎた今も元気に働かせてもらっています。40年を振り返ると、高度成長、バブル、昨今の不況と見てまいりました。私は時代が変わっても仕事に関しては一切手を抜かず、一生懸命がモットーです。これは誇れる事です。
 残り少ない労働人生ですが、一生懸命頑張っていきたいです。



大阪市長 城東衛生

編集記

早春の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。毎々格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。今回は「乾電池の廃棄」について特集しました。分別せず、一般ごみとして廃棄していませんか？企業から出る乾電池は産業廃棄物です。100%リサイクルできる貴重な資源ですので、これを機に適正処理をする事をお勧めします。また家庭から出る乾電池は区役所や大手スーパー、コンビニなどに「回収ボックス」が設置している場合がありますので、お住まいの地域内にある設置施設を確認して下下さい。廃棄物には色んな法律があり、“知らずに法を犯していた”では、取り返しがつかない事もあります。特に一般ごみに産業廃棄物が混載する事は、大阪市からの指導の対象となり排出者様に大変厳しくなっております。運搬している弊社も行政指導、許可取り消し等の厳しい処罰に科せられます。日頃から分別などのご協力を頂いており、まずお客様には大変感謝しております。今後ともお手数をお掛けしますが、宜しくお願い申し上げます。
 平成25年4月1日 吉本 聖美



大阪市長 城東衛生

産業廃棄物処理のことなら



平成25年4月 第18号

有限会社城東衛生
 ☎ 0120-889-530
 株式会社ジェイ・ポート
 ☎ 0120-445-138
 株式会社ジェイブリッジ
 ☎ 0120-530-398

～通信 report～

J-GROUP

城東衛生グループ

〒538-0041 大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号
<http://www.jgroup-osaka.com>

ご挨拶

陽春の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、世の中は「情報化社会」から「化」という字がなくなり「情報時代」「ネット社会」になってきております。私自身「インターネット」というのはバーチャル的で少し嫌悪感もありましたが、その昔、電話が発明された時、「顔も見えないのに信用できない」と当時の人々が言っていたとかいう話を聞き、新しい文明に抵抗しながらも新しい文化に挑戦することがこれからの生き残りをかけた廃棄物処理業界には必要だと感じています。そのため私自身も5年前より、経営者として日々感じたことをネット上にブログという形で綴っております。また、今年からは社員ブログを本格的に始めました。弊社の今現在の生の情報を発信しておりますので、またよろしければ弊社HPより覗いて頂ければ幸いです。今年もまた混沌とすご時世が続きますようですが、引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成25年4月1日 代表取締役 樋下 茂

お持込のお客様へ「GWの営業時間のお知らせ」 平常の営業時間：午前7時～午後8時まで

日	月	火	水	木	金	土
4/28	29	30	5/1	2	3	4
定休日	午後5時まで	平常通り	平常通り	平常通り	午後5時まで	午後5時まで
5	6	7	8	9	10	11
定休日	午後5時まで	平常通り	平常通り	平常通り	平常通り	平常通り

祝日は営業時間が短くなりますのでご注意ください。

知ってるつもり「論語」

「日経おとなのOFF 論語入門」より抜粋

【現代語訳】自分については厳しく反省し、他人には寛容な態度で臨む。そうすれば、人の怨みをかう事も少なくなる。

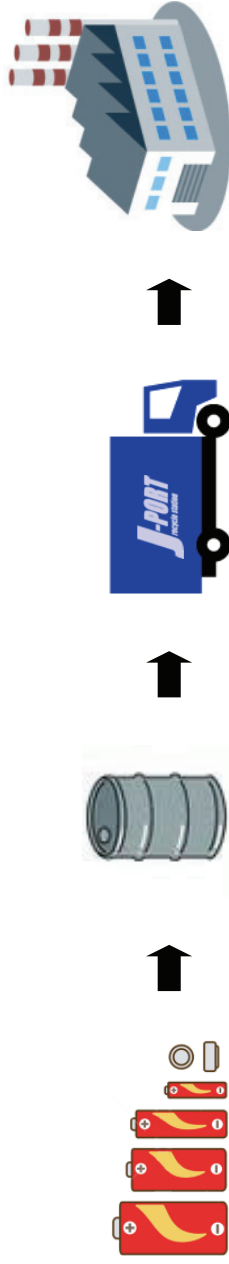
【解説】自分には厳しく人には寛容にするべき。放っておくと反対になりがちなのが人間の弱さだけれども、人の危機こそ、この人間関係の大原則に立ち返れば、おのずと道が切り開けるはず。

「遠ざかる」
 則ち怨みに
 薄く人を責むれば、
 「躬自ら學くして、
 子曰く
 衛霊公篇」

今の特集「乾電池の廃棄について」

乾電池は産廃？！ 会社や商店など、家庭以外から出る「使用済み乾電池」は、大阪市では処分できません。廃乾電池は産業廃棄物としての取り扱いになっております。産業廃棄物の種類は、「金属くず（亜鉛缶、鉄外装）」と「汚泥（二酸化マンガン、塩化亜鉛等）」の混合物に該当します。なお、炭素棒（黒鉛）の部分も「燃え殻」ではなく「汚泥」となります。廃乾電池の中には水銀が含まれている輸入製品もあるため、委託処理する場合は、水銀を回収できる業者にすることが望まれます。（大阪府のホームページ参照）

使用済み乾電池の排出方法



- ①排出（使用済みとなった乾電池を、他のごみとは混ぜないで一定量保管）
- ②収集運搬（当社へ持込み、又はお引取りの回収依頼をして下さい。）
- ③当社にてドラム缶に積替え保管後、処分場へ運搬します。

※お見積りのご依頼は当社までご連絡ください。

使用済み乾電池の処分方法（マンガン乾電池・アルカリ乾電池）

【回収した廃乾電池は、処理場へ搬入後100%リサイクルします】

①選別：異物や種類の異なる電池を選別します。

②焙焼：600℃～800℃で焙焼し、水銀を気化させます。

水銀：水銀蒸気を冷却し再び液体水銀にする。

回収した粗水銀は精製し、高純度の金属水銀（無機水銀）になる。

再生した水銀は試薬の製造や蛍光灯等の材料として使用します。

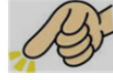
③解砕・磁選：乾電池の外缶は磁石で選別され取り除きます。

鉄くず：製鉄所で鉄筋などの鉄製品としてリサイクルします。

亜鉛・マンガン：亜鉛製錬工場で亜鉛地金の原料としてリサイクルします。

微量要素肥料原料としてコーヒー畑やオレレンジ畑などの作物を栽培する時の栄養素として使用します。

「乾電池」の豆知識



液漏れ は主に過放電（機器の中に放置する事）によって起こります。特にアルカリ電池の場合は電解液が強アルカリの為、腐食しやすい。目に入ると失明する恐れもあるので注意が必要です。液漏れた乾電池の処理もできますが、ビニール袋などに入れて直接手に付着しないように取り扱って下さい。

当社のお見積り

処理費：300円/kg

引取り回収の場合は、収集運搬料金が別途掛かります。運搬距離を含め、収集条件によって異なりますので、まずはご相談下さい。

お客様トピック

「お客様トピック」広報掲載 募集中！（無料）掲載希望のお客様は、吉本までご一報下さいませ。

鶏がら醤油ラーメン 「一耕」麺屋

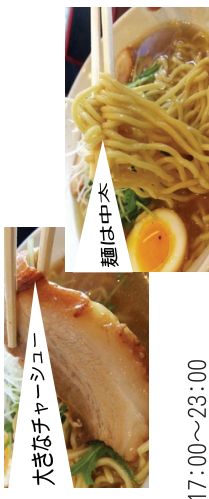
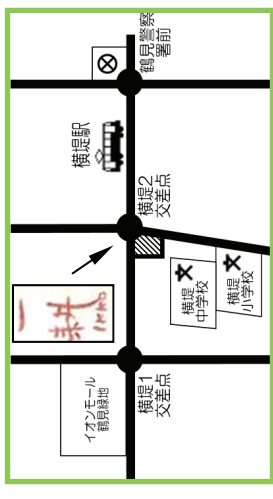
まったり旨い、ちよっと甘口な
うまき醤油750円



【その他メニュー】
こいくち醤油ラーメン700円
うすくち醤油ラーメン700円
豚めし(並)300円～
ラーメン(並)300円～
※ラーメンスペースの炊込ご飯

大阪市鶴見区横堤1-11-55
TEL：06-6953-7158

【昼の部】11:00～14:30 【夜の部】17:00～23:00



Jトピック

計量機能付きトラック導入致しました！



計量機能付きトラックを導入しました。今まで、かさ単価と言う曖昧なお見積り数量でしたが、1kgあたりの単価見積りで、明確に処理費を出せる事になりました。積み込んだ重さが瞬時に解るとい、画期的な機能にお客様からも喜びの声を聞いております。これまで積み合わせの難しかった少量のごみも、このトラック導入により解消される事になりました。

社内で「木鶏会」始めました。

社内木鶏（もっけい）会とは、人間学を学ぶ月刊誌『致知』を使った社内勉強会です。社内木鶏会の実施により、社員相互の感受力が刺激され、心が磨かれていきます。人間力向上の鍛錬の場、切磋琢磨の場になり、会社が一体化。その結果、業績も向上すると言われています。

弊社では3月9日、致知出版の板東様に来て頂き、「社内木鶏会」を開催いたしました。「致知」という雑誌を各自読んで感想文を書き、それを3人一組でシェアしました。人の意見は絶対に否定せず“褒める”“拍手する”事がルールです。木鶏会の後、社員みんなで談話を楽しみながら食事をしました。初回参加に緊張気味の社員も最後は笑顔になっていました。人から褒められる事は、社会に出てからあまりない事ですが、ルールなので、仕事振りや性格を見つけて褒めてもらえる事が、恥ずかしながら、とても心地良く思いました。社内一体感を創るのを目的に、今後も定期的に開催する事になりました。



ところで「木鶏」ってなあに？

中国の古典『莊子』にある言葉で、立派な闘鶏の、いかなる敵にも動かないその様子が、まるで木彫りの鶏のようであったという故事に由来します。転じて、何事にも動じず、常に平常心でいられること、また、いかなる境地にあっても自分の実力どおりの力を発揮できる、本物の人間のたとえにも使われる言葉です。

